創造力・企画力向上研修

【合同研修】

情報収集・アイデア発散～具体化のプロセスを体験し、企画提案につなげる！

目的	多様な視点からアイデアを案出する技法を学ぶとともに、前例にとらわれない斬新な施策を企画・策定する能力の向上を図る。			
内容	(1) 前例にとらわれず多様な視点からアイデアを生み出す創造的思考の概念を共有し、 「幅広い視点」・「知識の量」・「考える力」の３つに焦点を絞り、身につけるべきことを理解する。 (2) アイデア発想のプロセスを共有し、様々な組合せの視点を活用して創造的な発想を行うトレーニングを行う (3) 演習などを通じてアイデアを具現化して企画書としてまとめる方法を学ぶ。			
実施年月日	第１組 ： 令和５年　７月１３日（木）～１４日（金） 第２組 ： 令和６年　１月１１日（木）～１２日（金）		定員	第１組：３６名（市町村職員８名　県職員２８名） 第２組：４２名（市町村職員８名　県職員３４名）
対象者	（市町村）　採用２年目 ～ 係長等未満の職員 （県）　中堅キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和５年５月31日（水）	《第６回》	経費内訳	内訳表１
指定ホテル	―		その他留意事項	―
研修講師（プロフィール）	【 一般社団法人 日本経営協会　協力講師　佐々木　茂（ささき　しげる） 氏 】 1960年生まれ 上智大学文学部社会学科卒業 大学卒業後、福武書店（現在のベネッセコーポレーション）入社、編集長等歴任。その後、家業の経営を経て、 1998年　独立　有限会社ジャンクション設立 2013年　株式会社に改組。現在に至る。 中小企業施策・マーケティングに関わる自治体・公的機関アドバイザー等を多数歴任 （独立行政法人　中小企業基盤整備機構　チーフアドバイザー）			
受講者の声	・アイデアを出したり整理することに苦手意識があったが、たくさんの手法と事例がわかりやすく実践に使えそうだった。			
	・演習が多く、インプット、アウトプットができる時間があり、とてもタメになりました。			
	・情報を整理するために、図式化することを学んだので、今後の業務に活用したいです。			
	・グループワークの比重が大きい研修だったが、取り組みやすいプロセスや題材で活動的に参加できた事がよかった。			
	・図を使った情報整理の方法等、仕事の中で参考になる点が多かった。			
備考				

時間割

	8:50	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目	受付	オリエンテーション	アイスブレーク、自己紹介 1．問題を認識する		昼食	2．情報探索と情報収集 3．情報の整理からコンセプトへ				
2日目	受付	4．アイデアを出す 5．具体化する			昼食	6．目標を設定する 7．総合演習 ふりかえり			閉講	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。